



二

〇一五年六月二十九日(日)、
所沢くすのきホールにて、東野高等学校四〇周年記念「大同
窓会」を開催いたしました。

一期生から三十八期生まで、そ
してご退職された先生方と現職の
先生方を含め、約三百名もの方々
にご参加いただきました。世代を
越えて再会を喜ぶ、笑顔のあふれ
る会となりました。

皆さまをお迎えした会場には、
懐かしい東野の風景を大きく映し、



東野高等学校同窓会会報
No.24 2025年冬号
東野高等学校同窓会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二木本112-1

40周年記念 大同窓会 開催



るで東野に帰ってきたかのような空
間を造り、チェロ奏者としても活動
されている二宮道成さん（六期卒業）
の生演奏により、会場が幻想的な雰
囲気に演出されました。

演奏終了とともに、暗転した会場
には学校建設当時の映像を流しまし
た。何もない土地に校舎が形を成し
ていく様子に、皆さまそれが「四
十年の歩み」を感じてくださってい
たように思います。

お忙しい中、ご出席くださった
中川進理事長、平井廣治校長より
ご挨拶をいただき、前校長の小野田
正利先生の乾杯の発声で会はス
タート。

残念ながらご出席が叶わなかつた
約四十名の先生方からも、心温まる
メッセージが届いており、会場で映
像や音読により紹介をいたしました。
進行ナビゲーターは、声優の一ノ渡
宏昭さん（三



期卒業）と役
員の毒島美泉
さん（三十二
期卒業）が務
め、終始なごやかな雰囲気で進行し
ました。

オードブルやサンドwich、サ
ラダ、お寿司、ケーキなど、心を込
めて用意した料理を囲みながら、歓
談の輪は広がっていました。

また、四十年の歴史を年表にまと
ました。



正面には食堂
と芝生、右に
は大講堂、左
にはホームル
ーム通り。ま
るで東野に帰ってきたかのような空
間を造り、チェロ奏者としても活動
している二宮道成さん（六期卒業）
の生演奏により、会場が幻想的な雰
囲気に演出されました。

同窓会が会報等で呼びかけをし、取
りまとめてきた、卒業生のタウンペー
ジ（仮）に繋がる、卒業生によるお仕
事紹介コーナーも設け、さまざま分
野で活躍する同窓生の姿を紹介しまし
た。世代を超えて刺激を受け合う、東
野ならではの温かいつながりを感じる
コーナーとなりました。それら卒業生
が営むお店の商品。コーヒー豆、ワッ
フル、お茶、お食事券などを景品とした、
くじ引き大会も大いに盛り上がりまし
た。

会の後半では、「先生への一分間イン
タビュー」で懐かしいお声やエピソード
が次々と飛び出し、笑いと拍手が絶
えませんでした。

会場のあちこちで、先生を囲んで思
い出話や近況を語り合う姿が見られ、
順番を待つ卒業生の列ができるほど。
再会を心から楽しむ皆さまの笑顔に、
私たち役員一同も胸が熱くなりました。
準備期間中は試行錯誤の連続でした
が、多くの方々の温かいお力添えにより、
この日を迎えることができました。ご
参加くださった先生方、そして全国か
ら駆けつけてくださった会員の皆さん
に、心より感謝申し上げます。



「お出席くださった先生方より、感想をいただきました。」

● 橋村 重美 先生

同窓の「懇」とは、東野での三年を、厳しい外界からモードリックムとしての時を過ごす盾であり、その間に得た学びを糧として、美しい外観として立ち向かうための装いでもあります。そうした一時期を互いに共有出来ていた者たちの集う貴重な場が、同窓会なのだと思います。

当時、多くの卒業生、そして先生方にお会いすると、皆一様に微笑んで共に過りました。思い出に浸り、喜びに満ち満ちて話しあはれました。東野へのロイヤルティを高めるこのような機会が、今後も継続されることを期待します。

年月をかけ、企画・立案・運営に携わってきた多くのスタッフの尽力に敬意を表します。

会場は室内陸上ができるのではなくいかと思われるほど大きい。大同窓会と銘打ち、卒業生すべてを対象にするのだからスケールは会場に負けない。

● 望月 秀和 先生

会場は室内陸上ができるのではなくいた。それも模造紙などではなく、テントに使うような生地で印刷されている。これにも驚いた。行間からその時のエピソードを思い出すことができた。

とても楽しい集まりでした。感謝です。

● 藤井 亮 先生

大同窓会に招待くださいありがとうございました。懐かしい面々に会える貴重な機会を作つてください、とても充実した時間を過ごさせてもらひました。私が東野高校でお世話を始めたのは1991年から1996年です。あれから十年が経過して、働き盛りになつた元生徒たちのがんばつていて姿を見て、私も一層がんばろうという気持ちになりました。今回会えなかつた元生徒の中には、その後どう生きているのだろうかと気になる子たちが多數います。次の機会があれば、そのときはぜひお会いしたいです！

ご出席くださった先生方の一覧です。	
【現職の先生方】	
中川 進理事長	相田 高宏 五十嵐文彦先生
平井 廣治学校長	佐藤 祐紀先生 河野 秀夫先生
森原 英雄先生	比木 伸一先生
藤井 千栄子先生	武井 仲本 進一先生
森 俊朗先生	田中 美和先生
【退職された先生方】(五十音順)	
市橋 公生先生	内田菜穂子先生
大井 (旧姓)旭慶子先生	大塚 大介先生
小川紀代美先生	尾崎 大輔先生
大澤 健一先生	光輝先生
熊谷 (旧姓)吉田優子先生	加藤 拓也先生
小澤 健一先生	小島 優子先生
栗林恵美子先生	吉田 敏夫先生
塚田 染智先生	西本 清治先生
是澤 博昭先生	中出 敏夫先生
高萩くみ子先生	松風 郁夫先生
森本惠美子先生	丸山 利剛先生
吉田 一子先生	西本 敏夫先生
石場留美子様	松浦 幸洋先生
盛田麻里子様	平塚 美紀先生
岩永 幸雄様	横手真理子先生
山畠 定男先生	山口 良彰先生
横手 真理子先生	守 美紀先生
石岡 審穂様	岩永 幸雄様

ご出席くださった先生方の一覧です。

【現職の先生方】

- 中川 進理事長
- 平井 廣治学校長
- 森原 英雄先生
- 比木 伸一先生
- 藤井 千栄子先生
- 森 俊朗先生

【退職された先生方】(五十音順)

- 市橋 公生先生
- 内田菜穂子先生
- 大井 (旧姓)旭慶子先生
- 大塚 大介先生
- 小川紀代美先生
- 尾崎 大輔先生
- 光輝先生
- 大澤 健一先生
- 栗林恵美子先生
- 塚田 染智先生
- 是澤 博昭先生
- 高萩くみ子先生
- 森本惠美子先生
- 吉田 一子先生
- 石場留美子様
- 盛田麻里子様
- 岩永 幸雄様

ご出席くださった先生方に心より感謝申し上げます。

「お出席くださった先生方に心より感謝申し上げます。」

大同窓会開催にあたり、ご協力いただいた卒業生のお店

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

● コーヒー豆 豆茶堂 / 岩井田徹さん(2期)

● 焼き菓子・洋菓子メモルス / 卒業生(8期)

● 狹山茶 増田園本店 / 増田武史さん(14期)

● フラワーショップ nohana / 神田和彦さん(5期)

● 横浜らーめん 伝家 / 卒業生(1期)

● 音楽喫茶 mojo / 工藤昭太郎さん(2期)

戦後八十年という節目の今年、盈進学園は創立100周年・東野高等学校は開校40周年を迎える」とができました。

これも田頭より本学園・学校を「支援くださっている関係者の皆様、また卒業生の皆様のお蔭と感謝申し上げております。

本学園の創始者丸山銳雄先生が、都下北多摩郡保谷村（現在の西東京市）の自宅で六人の子どもたちとともに盈進小学校の開校式を行ったのは百年前の一九一五年（大正十四年）九月十日でした。

「盈進」の名の親は、明治・大正・昭和を代表するジャーナリストであり、国民新聞（現在の東京新聞の前身の一つ）を主宰した徳富蘇峰氏です。氏は中国の古典「孟子」の（原泉混として昼夜をすてず。あなたに盈ちてしかる後に進み、四海にいたる。本ある者はかくの如し。）の句から「盈（満）ちて進む」即ち「盈進」を学園名に冠されました。個性を伸ばすことによって人格を盈（満）たして世に進み出る。ところが学園名は盈進教育の本質をあらわしています。

「人間教育と個性教育」を追求された丸山先生の教育実践は、その情熱と相俟つて、朝日・読売・東京日々（現・毎日）といった新聞にも度々紹介されました。また学園の学風を慕つて近隣だけでなく他県からも学びに来ていた生徒が何人もいました。こうした教育活動と世

間の評価は周囲の心を動かし、学園の賛同者を増やしていく、学園創立

の六年後には幼稚園が創設されます。その後、一九四五年（昭和二十年）の東京大空襲によって校舎が被弾し、武藏野市に移転した後、盈進中学と高校を相次いで開設しましたが、狭い校地の中に、幼・小・中・高と四校が一緒になり、教育環境がもう一つ整わず、苦難の時代だったともいえます。

学園は一九八五年（昭和六十年）、現在の入間の地を新天地と定め校名も改め、新生・盈進学園東野高等学校がスタートし、今年で四〇周年を迎えました。この間、度重なる大震災や感染症の大流行、一方ではA-Iヤロボットの急速な発達。これから先、時代はどうのように変化していくのでしょうか。どのように変わっていくのもとも、本校は今後も社会の歩みに遅れることなく、世に必要な人材を輩出できる教育機関であり続けなければならぬ、との思いを新たに次の

一〇〇周年・五〇周年に向かって学園・学校関係者一同邁進する覚悟です。

一〇〇周年・五〇周年に向かって学園・学校関係者一同邁進する覚悟です。

学園創立100周年・学校開校40周年を迎えて

中川 進 理事長

会の運営にとって大切な集会の運営に、年一回開催され、オンライン参加も含め、これまでに約二十名もの会員が総会に出席をしてくださいました。

当日は、盈華祭開催中にもかかわらず、中川進理事長並びに、平井廣治校長が出席くださいり、お二方から挨拶も頂戴しました。議案審議では、本年六月二十九日に開催した大同窓会の報告や収支、東野四〇周年の記念として、体育館への橋の修繕費の一部を寄付したことなどを含む決算・監査報告、一年連続で新たな役員が選任されたことと、特筆すべき議案でした。

橋の修繕費の寄付は、毎回会報で案内がされてくる、同村会基金への皆様からの寄付から充てられた」と等の説明もされました。



採用済みの議案書は
ご覗ください。↓

かかって、年に一回発行・郵送してもらいたい」とが報じられ、満場一致での議案書採決となりました。

総会は、少しかじりまつた場ではありますが、同村会の運営にとって大切な集まりです。同村会の活動を知つていただく機会として、また、卒業生として東野と高麗のつながりを見つけるためにも、ぜひ、次回の総会に出席をしていただけないと嬉しい限りです。



◆ 同村会基金 ◆

卒業生の想いを、寄付という形で学校に届けるために設立しました。
ぜひご協力をお願いいたします。
今回の周年記念では、橋の修繕費にもこちらの基金を活用いたしました。

発行者 東野高等学校同村会（同窓会）



〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1 東野高等学校内
FAX 04-2934-6462
メールアドレス info@dousonkai.com
ホームページ https://www.dousonkai.com



お振込先
埼玉りそな銀行入間支店 普通口座

- 口座番号 1384371
- 口座名 東野高等学校同村会
(ヒガシノコウトウガッコウドウソンカイ)

同村会からの最新情報やお知らせは
「同村会ブログ」を
ぜひご覧ください。

